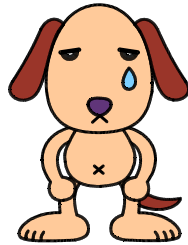


# 最後の場面を読むヒントに！

おじさんはひとりりで、チタッとむちを鳴らした。

ひとりです...  
ということばが、悲しい  
ですね。

むちを鳴らしているおじさんの心の中は.....



じんざもどって来て  
おくれ

あのすばらしいえん  
ぎをまた見せておく

しんだなんて、おれ  
は信じないぞ。

おまえは、すごいラ  
イオンだったよな。

じんざよくやったな

五つの火の輪はめらめらと燃えていた。

じんざが生きていたらとぶはずだった五つの火の輪です。  
おじさんは、少年のことも、五つの火の輪をとぶこと  
も知っていたんですよ。きつと。

とても火が強く燃えていて、今にもじんざが  
出てきそうですね。